

2012年度 活動指針

会長 勝沼春彦

私が会長に就任してから1年が経過しましたが、サッカー界における日本の活躍は目を見張るものが数多くありました。女子W杯における「なでしこJAPAN」の優勝。沢選手のバロンドール受賞。そして、ヨーロッパにおける各国リーグでの日本選手の活躍は、日々の報道により私たちに届き、「世界のサッカー」が以前のように遠い世界のものではなく、より身近に感じられるようになってきました。

しかし、昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年が経ちましたが、まだまだ被災地においては苦しい生活が続いている方がたくさん居ります。1日も早い復旧、復興が成されることを心からお祈りいたします。

こうした状況下ではありますが、今後、足利市サッカー協会としては、「無限の可能性を持つ子供たち」への普及活動、育成活動を継続して行っていきたいと考えております。

本年度 活動指針

1 普及活動の充実

足利市サッカー協会一丸となっての普及活動

2 女子への普及、育成活動の推進

女子サッカーへの注目を集めている今、更なる普及、育成活動を行う

3 情報の共有化

専門部・委員会の情報について、理事会等を通じて一元化していくと共に、事務局機能により協会・会員が情報を共有することにより、円滑な活動が行えるようにする。